

# 松村ゼミ

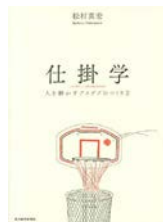


- ◆ 研究テーマ：仕掛学
- ◆ 開講時限： 火曜日 5限
- ◆ 人数：4回生 5人 3回生 2人  
聴講生 2人 院生 3人  
男女比（ 6：7 ）

- ◆ 論文：自由

著書「仕掛学」東洋経済新報社

- ◆ 飲み会頻度：ゼミ中にも飲むが、外で飲むことは多くない。
- ◆ ゼミ旅行：有 OB会：無



## 授業(形式・内容等)

研究室でおしゃべりをしながらアイデアを積み重ねる

ペンを握ることはあまりなく、頭をひねることが多い

仕掛けの考案/アイデアの発表/実験考察/  
雑談/お菓子食べる/院生の研究発表

(院生の発表を聞けば必ず新しい知見が得られる！)

## 先生ってどんな人？

見た目は院生

そこも含めてなんというかトリッキーでフレンドリー  
奇術研究会出身。ワイン好き。子煩悩。後厄。

## 先生からひとこと

ガーリーな男塾です>



ここがポイント



世界中どこを探しても、  
仕掛学は松村ゼミでしか学べない。

雰囲気(授業中や授業外も)

真面目なあほ  
落ち着きのある楽しさ  
高い女子率による緩やかさ



どんな人が先輩？(現ゼミ生の特徴やOBの進路など)

- 日本酒サークル代表、イケ阪優勝者、天麻早食い優勝者、ハンダイ映像祭一般部門大賞者、カンヌライオンズ受賞者、広告電通賞受賞者など！
- 博報堂やグランフロント大阪、地域おこし協力隊、LINE、サイバーエージェントなどなど。

## 私たちのゼミの長所

- 阪大全体でみても、特にクリエイティブな活動をしている。
- “ずっと一緒”にいたので、垂直にも水平にも仲が良いのはもちろん、協力して規模の大きなことが出来る。
- 優秀な留学生が多く、多様性も高い。
- 先生とも、先生のご家族とも仲良くなれる。娘さんが可愛い。
- 石橋商店街のおじちゃんおばちゃんとも仲が良い。よくお世話になる。
- 勉強しながら実践なので、知識が体系化される。
- かならずお菓子を囲んでゼミをしている。
- やりたいと思ったことを後押ししてくれる環境である。

## 私たちのゼミの短所

- キャッチーで誰にでも興味を持ってもらえる分野ではあるが認知度が低く、“仕掛学”の説明を求められる機会が多い。
- このゼミに入ってよかったとあまりにも強く思ってしまう。
- ご存知の通りゼミの時間が長い。(言い訳はたくさんある)
- 研究室で授業を受けるのだが、過去の制作物で溢れかえっているため、少し狭い。
- 青空ゼミをすることもあり、時期が悪いと少し寒い。
- 中毒性

